

－ 柏市のこれから －

OUR FUTURE VISION FOR KASHIWA

未来へつづく先進住環境都市・柏 ～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

柏市第五次総合計画【市民版】



柏市第五次総合計画が目指す

まちづくり

柏市は今後どんなまちをつくるの？

柏市は先進的で、将来にわたって持続可能な、地域課題を克服した暮らしやすいまちをつくります。

柏市は商業都市として発展、また都市近郊のベッドタウンとして成長してきましたが、今後は人口減少や少子高齢化、大幅な経済成長が見込めない社会環境といった課題も柏市全体で考えていかなければなりません。これらの課題を克服するまちづくりの大切な視点を「先進的」「持続可能」「地域課題の克服」という3つに定め、市民・事業者・教育機関・行政などが、理想のまちのイメージを共有して一体となって取り組めるように、次のような将来都市像を設定します。

未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

具体的にどんなことをするの？

「子ども」「健康」「活力」の3つを重点的なテーマにしたまちづくりに取り組みます。

重点目標 ① 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち

これまでの柏市は、商業のにぎわいや交通の利便性などの強みを背景に子育て世代が多く転入してきましたが、様々な場所で開発が進み交通網が発達する中では、これまでの強みが相対的に弱まっているといえます。これまで以上に子どもにとっても親にとっても魅力あるまちを目指すため、

- ① 教育環境の充実
- ② 子どもの育ちと子育ての支援
- ③ 親子が安心、楽しめる環境づくり などに取り組みます。

重点目標 ② 健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち

若い世代からの生涯を通じた積極的な健康づくりは、高齢者になっても生活の質が維持できるようになり、体力低下の予防や社会保障費の抑制などこれから高齢化社会を支えることにもつながります。また、高齢者の中でも活動的に過ごしている人もたくさんいることから、社会活動などの参加を促進することで、地域の活力、高齢者の孤立化解消などにもつながります。これらのことから、

- ① 健康寿命の延伸
- ② 生きがいと充実感が得られる環境づくり などに取り組みます。

重点目標 ③ 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

柏駅周辺はまさしく「柏の顔」として、多くの人が集まりにぎわう活力の象徴でしたが、柏の活力を一層引き上げるために、柏駅周辺とともに、手賀沼をはじめとする自然や農業などの産業、大学等の教育研究機関、スポーツや文化など多くの地域資源を活かし、つなげる

- ① 多様な地域資源を活かしたまちづくり
- ② 柏の良いイメージづくり などに取り組みます。



今の柏を知って、これからの街のことをもっと身近に考えよう。

KASHIWA

これからのまちづくりを知る前に、まずは柏市の特徴をおさえましょう。

北部・南部・中央・東部の4ゾーンに分けてそれぞれの地域をご紹介します。

北部ゾーン

都市の活力と自然環境が調和

利根川やあけぼの山公園などの自然に恵まれながら、最先端の研究を推進する大学や研究機関などもある都市の活力と自然環境が調和した地域です。また、つくばエクスプレスや常磐自動車道など、都心へのアクセスが良好なため、人口増加や企業進出が見込まれています。柏の葉キャンパス駅周辺地区では「公・民・学」が連携して環境や健康などの社会的課題の解決につながる先駆的なまちづくりが進められています。



柏市プロフィール

面積：114,74平方キロメートル
人口：411,703人(平成28年2月1日現在)
(男204,032人 女207,671人)
市の花：シバザクラ、カタクリ、ヒマワリ
市の鳥：オナガ



中央ゾーン

“柏の顔”として発展

柏駅、国道6号・16号を有する広域的な交通の要衝であり、柏駅周辺にはデパートや個性的な店舗が多数立地している、人が集まり活力・賑わいのある“柏の顔”として、また千葉県北西部の中心的機能として発展してきた地域です。近年は郊外型の大型店舗の進出などによって商業面の相対的な競争力の低下も懸念されることから、駅周辺の魅力や吸引力をより立てる取組などが今後求められています。



南部ゾーン

豊かな潤いとやすらぎ

NHK連続テレビ小説「マッサン」でも話題となったニッカウキスキーの工場がある豊かな緑と水に囲まれた潤いのある地域で、柏市が急速に発展した昭和40年代前後から多くの住宅地が形成されてきました。古くから発展した地域でもあることから、高齢化の影響に伴う課題も認識され、地域に即したまちづくりの取組が求められています。また、大学と連携した地域の活性化などの新しいまちづくりの取組も行われています。



東部ゾーン

手賀沼を中心とした自然と活気があふれる地域

手賀沼や山林、昔ながらの田園風景などの自然が豊富に残された貴重な地域である一方、国道沿いには工業団地が立地し、平成28年には大型商業施設がオープンする予定となっていて新たな地域活力の向上が期待される地域です。市民の憩いの場でもある手賀沼は、周辺に広がる農業なども活かしながら、柏市の新たな魅力をもつ場所になるよう取組を進めているところです。



柏市第五次 総合計画の概要

将来都市像「未来へつづく先進住環境都市・柏 ～笑顔と元気が輪となり
広がる交流拠点～」を実現するための計画の内容を紹介します。

3つの重点目標

基本構想

今後10年間の柏市の
まちづくりにおける大きな目標

充実した教育が実感でき、
子どもを安心して産み育てられるまち

7つの分野別計画

基本計画

3つの大きな目標を達成するための
具体的な5年間の取り組み

分野別計画 1 **こども未来**

- 「学ぶ意欲と学ぶ習慣」が身につく教育を推進します
- 子どもの育ちや子育てを地域全体で支える環境をつくります

分野別計画 2 **健康・サポート**

- 市民一人ひとりが健康な生活を送れるようにします
- 高齢者や障害者のニーズに応じて支援します

分野別計画 3 **経済・活力**

- 人が集まりにぎわいのあるまちをつくります
- 魅力ある産業が活躍するまちをつくります

ライフステージ別 7つの分野の 主な取組

子育て



たとえば…こんな取組

■子どもに関する地域資源やネットワークなどを活かし、孤立せず前向きに子育てができ、子ども同士が育ちあえるようにします

主な重点事業

- 親子で交流できる場の充実
- 子育て支援者の育成とネットワークの拡大
- 子育て・親育ちのための学習支援

■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制を構築して、パパ・ママの不安や負担の軽減を図ります

主な重点事業

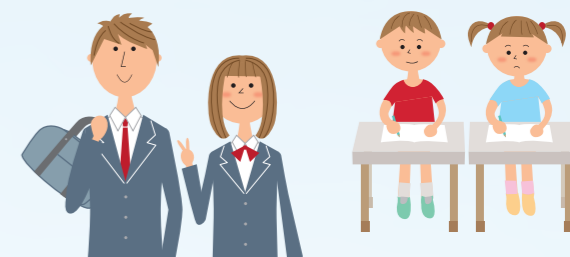
- 妊娠から子育てまでの総合的な支援体制整備

■幼児教育・保育施設、医療体制などの整備により、安心して子どもを育てる、子どもが育つ環境を充実させます

主な重点事業

- 既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行
- 私立認可保育園の整備
- 小児等救急医療体制の充実

教育



たとえば…こんな取組

■教育内容や授業の充実を図るなど質の高い学びづくりに取り組み、21世紀の社会で活躍できる人材を育てます

主な重点事業

- 学びづくりフロンティアプロジェクトの推進
- 学びを支援する人員配置の充実
- 学校図書館を活用した調べ学習の推進
- 放課後子ども教室の充実
- 授業でのICTの利活用の推進

■支えが必要な子どもを支援し、落ち着いた学習環境で学べるようにします

主な重点事業

- いじめ・不登校対策のための人的配置の強化
 - 教師・学校の力を高めつつ、地域の特色を活かした教育を推進する仕組みを構築します
- 主な重点事業
- 柏市教職員人材育成指針に基づく研修体制の充実
 - 学校支援地域本部事業の推進
 - 学校支援ボランティア活動の活性化

他にもこんな まちづくりに 取り組みます

防災力・防犯力を高めます

- 要配慮者対策の推進
- 防災機能の整備
- 犯罪が起これにくいまちづくり(地域づくり)の推進
- 犯罪を起こさせない人づくり(組織づくり)の推進

地域への参加や 地域での活動を促進します

- 自主的なまちづくり活動の支援
- 地域づくり参画のための学習支援
- 市民の「知りたい」に応える図書館づくりの推進

低炭素化を進め、 温室効果ガス排出量を削減します

- 省エネルギーの推進
- 再生可能エネルギーの普及促進

健康・体力づくりを通して、健康な生活を送れるようにします

- 健康的な食習慣に関する啓発・環境整備
- 運動習慣に関する啓発・環境整備
- 休養、心の健康に関する啓発・環境整備
- 生涯スポーツきっかけづくり事業の推進

健康寿命を延ばし、
いつまでもいきいきと暮らせるまち

地域の魅力や特性を活かし、
人が集う活力あふれるまち

分野別計画 **4 地域のちから**

- 地域コミュニティの再構築・活性化をします
- 文化・スポーツなどの市民活動をもり立てます

分野別計画 **5 環境・社会基盤**

- 未来の子どもに引き継ぐ住環境をつくれます
- 良好な社会基盤を形成・維持します

分野別計画 **6 安全・安心**

- 災害が起きても安全が確保されたまちをつくれます
- 犯罪を未然に防ぐ安心があるまちをつくれます

分野別計画 **7 マネジメント**

- 持続可能な行政経営を行います
- 公共施設の最適化を進めます

豊かで潤いのある生活



たとえば…こんな取組

■ 地域の各資源や強みを活かして、にぎわいのある柏をつくれます

- 主な重点事業
- 快適に歩いて過ごせるまちづくりの推進
 - 公民学連携によるまちづくりの推進
 - 中心市街地における再開発の推進
 - UDCKを中心とするエリアマネジメントの展開
 - 柏の葉ブランドの確立
 - スポーツ、自然、体験をキーワードにした観光推進
 - 「農と食」総合戦略の展開

■ 文化・スポーツ活動をもり立て、地域への愛や誇りを育みます

- 主な重点事業
- 音楽の街かしわの創出
 - トップアスリート講習会の開催

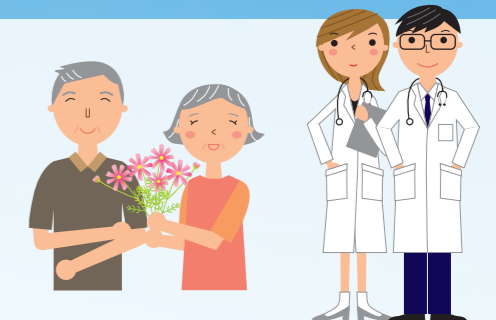
■ 豊かで美しい自然に囲まれた環境をまもりま

- 主な重点事業
- 緑を守る新たな方策の推進
 - 良好な樹林地等の保全
 - 水辺空間や湧水の保全

■ 快適で暮らしやすい住環境を整備します

- 主な重点事業
- ニーズや地域特性に応じた公園機能の見直し
 - 低未利用地の活用推進
 - 安全に歩ける空間の拡充
 - 鉄道の利便性向上
 - バス交通等の利便性向上

セカンドライフ



たとえば…こんな取組

■ 「やりがい」や「いきがい」をもって地域や社会の支え手・担い手として活躍できる環境をつくれます

- 主な重点事業
- セカンドライフ支援事業の推進
 - 高齢者就業の充実



■ 地域全体で高齢者を支える仕組みを構築して、住み慣れた地域で安心した生活を送れるようにします

- 主な重点事業
- 在宅医療・介護の連携の推進
 - 高齢者の住まい・住まい方の支援
 - フレイル予防の促進
 - 認知症の早期発見・早期治療への支援
 - 認知症の人と家族への支援

■ 障害者の在宅生活を支える基盤を整備します

- 障害者の地域生活を支える拠点機能の整備

■ 戦略的に市内の産業を活性化します

- 付加価値の高い産業の誘致
- 産業間連携コーディネーターの育成

■ 農産物の地産地消や消費拡大を図ります

- 生産・経営の拡大
- 営農環境と社会的機能の維持
- 柏農業の販売促進

■ 持続可能な行政経営を行います

- 行政評価の実施
- 税収確保に向けた取組の推進
- 職員定数・人件費の適正化
- 公債費の抑制

■ 公共施設の最適化に取り組みます

- 公共施設等の計画的な保全と効率的な維持管理
- 公共施設等の適正配置・多用途化の推進
- 公共施設の民間連携の推進



柏市の これからのまちづくり計画

柏市第五次総合計画って？

“基本構想”と“基本計画”

『基本構想』は、柏市が目指す将来像と、その将来像の実現のために取り組む基本的な目標(重点目標)を主に示したものです。この『基本構想』の具体的な手段となる施策の方向性を体系的に示したものが『基本計画』です。

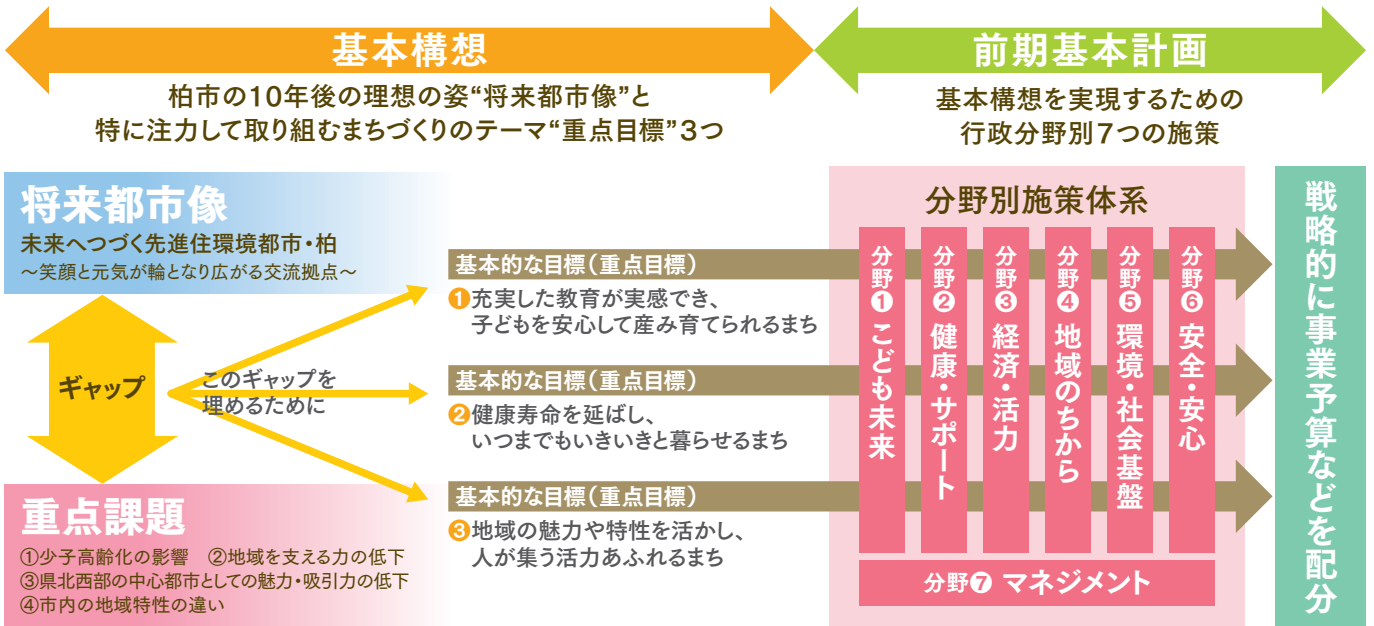
それぞれの計画期間

基本構想は、平成37年度までの10年間を計画期間とします。基本計画は、前・後期の5年間ずつに分けて取り組みます。本冊子で示すのは、平成32年までの前期5年間です。

柏市第五次総合計画の期間

平成(年)	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
西暦(年)	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
基本構想 (期間10年)	→									
基本計画 (期間5年)	→ 前期基本計画					→ 後期基本計画				

柏市第五次総合計画の構成



柏市第五次総合計画【市民版】 平成28年3月発行

■発行：柏市
■企画・編集：柏市企画部企画調整課

計画の本編は柏市オフィシャルウェブサイトからご覧いただけます
<http://www.city.kashiwa.lg.jp>